

地区広報委員会

委員長 **木村 芳樹**
(大阪南RC)

横山ガバナーは今年度、広報の重要性を説かれています。それを受け、2008-09年度地区広報委員会は、獲得したRI広報補助金を活用し、新聞とラジオ、そして地区ホームページなどのメディアを利用したロータリーの広報を展開しました。

「新聞」は産経新聞のご協力により、2月15日から5月17日までの毎日曜日、大阪府下版において計13回連載されました。「変わるロータリークラブ『第2660地区』の胎動」と題し、外部の人の目にはロータリークラブの活動はどのように映っているのか。その批評や提言を「おたずねします」としてまとめ、その回答を「お答えします」のスタイルで第2660地区のロータリアンに語ってもらいました。これらの記事を通してロータリーのありのままの姿を皆さんに知ってもらい、ロータリーをより深く理解していただくとう企画しました。また、別コラムで「クラブ紹介」しました。クラブ紹介は各IMのガバナー補佐の皆様にご紹介いただき全部で12クラブを紹介できました。

この一連の掲載記事は、取材記事であり、その中にはロータリアンにとっては意外な、また少し耳の痛い質問・提言もあったかと思いますが、地区ロータリアンの皆さんのご回答でより正しいロータリーを知っていただけたとおもいます。

質問コーナーの取材に応じていただいた、ロータリアン以外のみなさん、そしてそれに真摯にご回答いただいた第2660地区横山ガバナーはじめとするロータリアンの皆さん、そして、「クラブ紹介」

」に応じていただいた各クラブの皆さんに感謝いたします。

また「ラジオ」はラジオ大阪（OBC）の4月からの新番組、毎週土曜日の「サタデーらじお 高岡美樹です！」に「あなたの街のロータリアン」のコーナー（PM5:00-5:10）を設け、6月末の土曜日までの計13回の番組を放送します。4月4日の第1回は横山ガバナーの「ロータリーとは」で始まり、各地区委員長とメンバーにロータリーのポリオや新世代関係また社会・世界奉仕の意義と第2660地区そして各クラブの具体的な取り組みについて語っていただいています。

ロータリーの理念や、あまり知られていないその多彩な活動の一端をロータリアン以外の人々に知っていただけるかと思えます。番組最後にロータリーの公共奉仕広告の「ロータリーは人類のために活動します。」を流しています。

新聞、ラジオは非常に多くの人々に同時に情報を知ってもらえますが、一過性であり読み逃し、聞き逃しがどうしてもあります。産経新聞、ラジオ大阪のご許可を得、地区ホームページの広報のコーナーにその内容を転載させていただいております。またラジオ番組はその番組（音声）にスライドショーをかぶせたものを逐次掲載します。ぜひ一度はご覧ください。

今年度、運よくRI広報補助金を獲得でき、また産経新聞グループの多大なご協力をいただき、このような広報活動を地区として実施することができました。が、これだけではすぐに忘れ去られてしまいます。広報は継続することにより力を持つことができます。地区による広報だけでなく、各クラブそれぞれで今まで以上のロータリー広報に力を入れていただくことをお願いいたします。

